



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

## CONTENTS

ごあいさつ	1
第36回国際福祉機器展 H.C.R. 2009 報告	2
ふくしのスキルアップ講座	4
ワークショップ・セミナー、 ふくしの相談コーナー/救護対策	5
来場者アンケート	6

国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート	7
広報、PR 活動、車いす貸出コーナー、 シャトルバス	8

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会  
Publisher: Health and Welfare Information Association  
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798  
定価 1部 200円 (消費税・送料込)

# 社会の変革のなか 真の社会保障制度の 改革を

—H.C.R. 2010に向けて—

**現**在、少子高齢化の進展、家族のつながりの希薄化、経済のグローバル化、地方分権・規制緩和などさまざまな社会構造の変化が進むにつれて、これまでのわが国の制度では対応できないさまざまな状況が生まれています。

2009年は世界中で「変革」が求められた年でした。わが国でも新政権のコンクリートからヒトへとという方針のもと、社会保障制度は、後期高齢者医療制度の見直し、新たな障害者福祉施策の検討、子ども手当の創設、雇用のワンストップサービスの試行など「変革」の中心課題として社会から注目されることとなりました。

しかし、社会保障制度は短期的に個々の施策だけを議論し続けてはなりません。多様化・重複化する諸課題を整理し利用者の立場にたった持続可能な制度をどう創れるかが重要です。

介護・医療など社会保障制度の再構築はわが国だけの課題ではありません。わが国と同じように欧米や東アジア諸国では、少子高齢化の進展とともに

に家族の持つセーフティネット機能が低下し、社会保障制度の充実と財政との折り合いが国民的課題となっています。

わが国は世界の中でも少子高齢化社会の先頭を走っています。今後、介護・医療など保健福祉の課題に対し量と質の両面から改善を図り、持続可能な社会保障制度を構築できるかは、欧米や東アジア諸国の社会福祉関係者も注目しています。

こうしたなか、私たち社会福祉関係者は質の高い社会保障制度の担い手として、人々の福祉・介護ニーズに沿ったサービスを提供していかなければなりません。そのためにはスタッフの負担を軽減する福祉機器の効果的な活用を含め、一人ひとりがより一層のスキルアップを図っていく必要があります。

H.C.R. 2010では、世界の福祉機器の展示と併せ福祉機器の適切な選び方や安全な使い方など利用者・家族にとって参考となる情報提供をおこないます。また、福祉・介護施設や在宅サービスの役職員のスキルアップを図るため介護・保健福祉分野の課題をテーマとしたセミナーの開催、各国の専門家による介護・医療・福祉に関する制度の検討など、各種催事を総合的に企画・開催してまいります。

2010年、私たち保健福祉広報協会では、H.C.R. 2010の開催を中心に欧米・アジア諸国の保健福祉関係者との連携・協力を積極的に推進してまいり所存です。

今後とも皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 次回開催

### 第37回 国際福祉機器展H.C.R. 2010 37th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2010

H.C.R. 2009には出展企業・団体をはじめ関係者の皆様に、多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

次回のH.C.R. 2010は、平成22年9月29日(水)～10月1日(金)に、東京ビッグサイトで開催いたします。

本会では、今後とも福祉機器の開発と普及の促進に努めてまいりますので、引き続き、関係各位のご協力、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

**会期** 2010年  
9月29日(水)～10月1日(金)

**会場** 東京ビッグサイト  
東展示ホール

**出展募集** 2010年  
2月1日(月)～3月31日(水)



財団法人 保健福祉広報協会